

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 経静脈的血栓溶解療法及び血管内治療を行った患者の年次比較及び検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 脳卒中科 佐野博康

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間 実施承認後～2020年12月31日

目的：脳梗塞発症急性期においては、発症4.5時間以内の経静脈的血栓溶解療法（IV-t-PA）が確立した治療である。さらに血管内治療（endovascular treatment; EVT）の急速な普及とともに、急性期脳梗塞患者の良好な転帰が期待できるようになってきた。これらの治療が行われた患者さん、行われなかった患者さんの背景を比較し、今後の脳卒中診療の向上に向けた課題を検討する。

方法：当院に搬送された脳梗塞患者さんの中で、経静脈的血栓溶解療法及び血管内治療を行った患者さんを後方視的に年次比較し検討する。また、それらの治療が行われなかった患者さんの背景を検討する。

■ 対象となる患者さん

2017年1月1日～2019年12月31日までの間に当院で脳梗塞入院を行った方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：当院の診療録から収集する。

年次毎の脳梗塞患者数、性別、年齢、病型、経静脈的血栓溶解療法の件数、血管内治療の件数。

経静脈的血栓溶解療法に関して、発症-治療開始時間(onset to needle time; ONT)、来院-治療開始時間（door to needle time; DNT）、血管内治療に関しては発症-再灌流時間（onset to reperfusion time; ORT）、来院-治療開始（穿刺）時間（door to puncture time; D2P）。それらの治療が行われなかった患者の背景、おおよその発症から来院までの時間。

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

(様式 17)

研究番号	第	20-34
------	---	-------

佐野博康 脳卒中科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971